

日本包装技術協会刊「包装技術」2007年11月号掲載

「2007 日本パッケージングコンテスト」の講評を頂いています。

小野 明氏 / 日本商工会議所 事業部長 (代理出席：立松裕之氏)

エコとか省資源というものとデザインの両立に各社が相当神経を使われているという気がしました。特に輸送包装分野で見ますと、段ボールの使用割合が随分増えていると思いました。例えば、輸送用のコンテナでさえも段ボールが使用されているという事例があり、省資源とか、リサイクルという意識が相当浸透しているとさらに感じました。

私ども、日本商工会議所会頭賞はジャパンパック㈱の「N-FLOWER “VASE”～紙製花瓶一体型切り花鮮度保持輸送ケース」(写真7)を選ばせて頂きました。これは、店頭に並べられるような輸送ケースはないかという、生花の小売店からの要望に応えた製品だそうです。水を入れる袋を段ボールに接着することにより、水を入れる専用の容器も不要となっています。組立でもワンタッチででき、分離も簡単にできるようになっています。また、段ボール自体も上下で切り離せ、下の部分はそのまま花瓶として使用できるようになっており、その製造・販売。それから配送・販売、こういった連携のモデルとしてできた商品といえると思います。今後、生花の新たな需要の掘り起こしにつながればと思っております。

今後の包装については、目に見えて綺麗だとか、あるいはエコに貢献しているということだけでなく、例えばその原材料の仕入れや、製造にかかるコスト、手間ひま等、こういったものを総合的に考えて、トータルで省資源化が図れる取組みが大事なのだと思います。

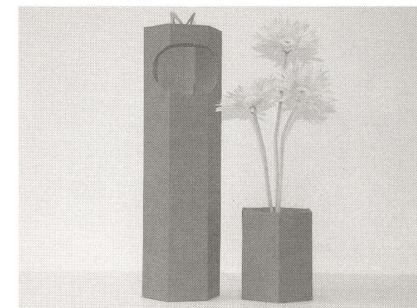


写真7 花瓶一体型花鮮度保持輸送ケース

れる袋を段ボールに接着することにより、水を入れる専用の容器も不要となっています。組立でもワンタッチででき、分離も簡単にできるようになっています。また、段ボール自体も上下で切り離せ、下の部分はそのまま花瓶として使用できるようになっており、その製造・販売、それから配送・販売、こういった連携のモデルとしてできた商品といえると思います。今後、生花の新たな需要の掘り起こしにつながればと思っております。

今後の包装については、目に見えて綺麗だとか、あるいはエコに貢献しているということだけでなく、例えばその原材料の仕入れや、製造にかかるコスト、手間ひま等、こういったものを総合的に考えて、トータルで省資源化が図れる取組みが大事なのだと思います。



小野 明氏

日本商工会議所 事業部長
(代理出席：立松裕之氏)

エコとか省資源というものとデザインの両立に各社が相当神経を使われているという気がいたしました。特に輸送包装分野で見ますと、段ボールの使用割合が随分増えていると思いました。例えば、輸送用のコンテナでさえも段ボールが使用されているという事例があり、省資源とか、リサイクルという意識が相当浸透しているとさらに感じました。

私ども、日本商工会議所会頭賞はジャパンパック㈱の「N-FLOWER “VASE”～紙製花瓶一体型切り花鮮度保持輸送ケース～」(写真7)を選ばせて頂きました。これは、店頭に並べられるような輸送ケースはないかという、生花の小売店からの要望に応えた製品だそうです。水を入